

岡山県津山市椿高下
津山高専 図書館
TEL 22-2204

印刷部 町田 5
津山市 朝日 5
津山市 山田 5
TEL 22-3135



酒呑童子伝説

まずこの物語の流れを紹介しましょう。時は平安時代。一条天皇が世を治めていたころ。都では十六・十七の女がさらわれる事件が起きていました。そしてある時、とある貴族の娘がさらわれたときにその親が行方不明の娘のことを占ってもらいました。占いの結果、それは大江山の鬼の仕業と判明しました。それを聞いた朝廷は鬼神も恐れると言われた源頼光とその配下であり後に頼光四天王と言われる渡辺綱、坂田金時、碓井貞光、卜部季武。同じく頼光配下の藤原保昌にこの鬼を討伐することを命じます。六人は山伏に変装し、武器を隠し持ち大江山へと向かいます。その道中、頼光一行は三人の老人に出会い、そこで神便鬼毒酒という酒を授かります。そして鬼の館にたどり着いた一行はその館の主でありこの事件の犯人である酒呑童子と対面します。そして酒宴の

席にて神便鬼毒酒を飲ませて酔わせ、寝込んでいる隙を突いてみごと討ち果たし、京へと帰還します。

これが大江山の鬼退治の伝説です。この作品は源氏の英雄源頼光や、かの金太郎が成長した姿と言われる坂田金時といった武勇名高い人物が登場します。そんな人物たちが登場するこの話は英雄物語として知られていますがこの物語には興味深い話があります。この話は何度か人気の衰退があり、それはそのときの時の為政者によるものという話です。この物語が人気を博していたのは世を治めていたのが源氏であったときといわれ、時の為政者が自分の正当性や、格の高さを示すために彼らの伝説を用いたというもの。そのためこの物語は「創作か？」という意見もあるそうですが、単純に彼らは英雄の代表といっているほど有名な人物であったのは確かです。この物語については「NHK歴史発見四」「日本古典文学全集三六」に載っています。どのようにして辿り着いたのか読んでみてください。

巨人伝説

この物語の登場人物たちはそれぞれが個人の伝説も持っていたりするのでそれぞれも読んでみてください。

巨人は、昔から世界中の物語に登

場する怪物です。現代では、巨人が出てくる漫画もあります。巨人が登場する物語を読んだことがある人も多いと思います。巨人の物語は、いつから人々の間で語られているのでしょうか？世界中に伝わる巨人伝説を、いくつか紹介します。

ネフィリム・・・旧約聖書の「創世記」に記されている巨人。神と人間の女性の間に生まれた子供。英雄としても知られている。互いに殺し合い、共食いをしていただとも言われている。

マングイス・・・シベリアに伝わる巨人。獣や人間を食べるので、困った人々が月に追放した。似たような話が、中央アジアに広く分布している。

だいだらぼっち・・・日本の各地に伝わる巨人。山や湖沼を作ったと言われる。甲州から土をとって富士山を作ったという伝説や、富士山を作るために土を取ったあとが琵琶湖になったなどの伝説がある。

あまんちゅ・・・沖縄に伝わる巨人。身長が3mあり、山の上に住んでいたとされる。

ツニート・・・イヌイトに伝わる伝説。心優しい巨人で、極北に住んでいたが、イヌイト達を見て逃げた。

参考文献・・・シベリア神話の旅

源為朝伝説

みなさんご存知でしょうか、源為朝という傑物を・・・

この源為朝という人物は源義経の八男で、源頼朝・源義経の叔父に当たります。身長が2mを超える巨体の上非常に気性が荒く、強弓の使い手で天下無双と謳われた男性です。生まれつきの乱暴者で、十三歳(一一五二)のときに父親に勘当され九州という(その当時では)僻地に追放されますが手下を集めて暴れ回り、三年で辺り一帯を支配して鎮西八郎為朝と名乗り、乱暴を続けていました。しかし、十六歳(一一五六)のとき父親が解官されてしまったためやむを得ず上洛しました。

その一年後に鳥羽法皇が崩御されたため政治的主導権を巡って崇徳上皇と後白河天皇が対立して起こった保元の乱では、父親とともに崇徳上皇方に味方して、後白河天皇方についた源義朝と戦いました。結局崇徳上皇方が負けてしまったのですが、為朝は左腕が右腕より十二cmほど長いこともあり自慢の強弓で敵を打ち倒していきました。敗走している最中に湯治のために立ち寄った湯屋で密告をうけ捕まった為朝の姿を一目見ようと護送中の見物に沢山の人が集まりましたが、その中にはなんと天皇までいたのです。

捕まった為朝ですが、その武勇が惜しまれて助命され、肘の腱を切られて弓を射ることができない状態で伊豆諸島に流刑となりました。しかし、傷が癒えるとまた伊豆諸島で

暴れ始めた為朝は島の代官である三郎太夫忠重の婿となり、伊豆諸島を支配してしまいました。それから十五年後(一一七〇)に、伊豆諸島の所領者である工藤茂光が上洛して為朝の乱暴狼藉ぶりを訴え、討伐の許可をもらい五百人以上、二十隻の船で攻めていきました。さしもの為朝も覚悟を決め、三百人以上が乗っていた大船を強弓一発で沈め落として九歳の息子と自害をしました。享年三十二歳でした。

桃太郎伝説

誰もが知っているといっても過言ではない桃太郎・・・でも成り立ちや起源などを聞かれると困りますよね。そんなときのために起源について紹介します。

まずは桃太郎のベースとなった人について説明します。吉備津彦命です。彼は孝靈天皇と倭国香媛との間の皇子で四道將軍でした。余談として浦島太郎は浦嶋子(諸説あり)で金太郎は坂田金時です。

次に舞台は吉備、笹ヶ瀬川、女木島(鬼ヶ島)があります。吉備は鬼が暴れていたところ笹ヶ瀬川は桃が流れたところでした。

また一口に桃太郎といってもいろいろあります。例えば
・おじいさんとおばあさんが桃を自分たちが食べて、若返って毎晩仲

読書感想文紹介

美作地区 高校生

読後感想文コンクール

最優秀作品

言海

岡山県立津山高等学校

一年 土井 歩

気になる言葉があると、すぐ大人に聞いた。「どういう意味？」幼い頃から言葉の海に溺れることが好きだった私は、本を読んでいるときやテレビを見ているときなど、言葉の

意味や由来をすぐ学ぼうとした。熟語だけでなく、ことわざ、慣用句、四字熟語まで、自分の言葉の幅を広げることが楽しくて仕方なかった。言葉に対して常時真摯な姿勢を見せる、辞書編集部主任の馬締光也。その彼が美しいと思っている「電車から降りた人々が、エスカレーターに吸い込まれるように整然と二列に並んでいく光景」について、私はその美を感覚的に捉えることができた。空の安全を守る航空管制官も、あた

良くして子供が生まれた。
鬼ヶ島は 北東方面、つまり十二支で云う「鬼門」にあり、鬼門は丑と寅の間。だから鬼達ははずれも、「牛」のツノを生やし「虎」の模様のフンドシをしめている。また桃太郎が鬼の反対にいと考えたときに、桃太郎から時計回りに申、酉、戌の順になっていたから猿、雉、犬は桃太郎の仲間になった。
陰陽五行説では桃は金行に分類される。金行に当てはめられる方位は西で、申・酉・戌の三支がここに分類される。桃太郎が「金」銀財宝をてにいれるのもこのため。
古代の大和政権と吉備国の対立構

図が鬼と桃太郎になぞられた。
赤い箱と白い箱が流れて来て、赤い箱を拾った赤ん坊が入っていた。
川上から緑と赤の二つの桃が流れて来たのでお婆さんが「緑の桃はあつちやいけ、赤い桃はこつちや来い」と言う赤い桃が寄って来た。
などがあります。
他には、中国では犬は「仁」、猿は「知恵」、キジは「勇氣」を示していたり、軍隊・企業では、キジは偵察、猿はその情報をもとに企画、犬は企画を元に行うという解釈だったりします。

かもパズルのピースをはめていくような器用さで航空機を操る。せわしく離着陸する航空機を、滑走路に収めたり飛び立つのを補助したりする。そこに美が生まれるのは必然であるように感じる。日常の片隅に紛れている美の素晴らしさを、改めて馬締が教えてくれた。

人は何かに対して熱量を持っている。その熱量と共に目標のために努力をするさまは、周囲の人間の心を動かすことができる。馬締は辞書という舟を編む熱量と共に、辞書を使い言葉の海へ航海する者たちを正しく導くため、数々の困難に立ち向かった。そして、多くの人々が馬締に協力をした。これもまた、私も多くの熱量を向けている部活動で、様々な人の努力をする姿を見て、何度も意識を変化させられた。自分の成長と共に他者へ良い影響を与える、素晴らしい連鎖だと思う。

私は小学生のころ、辞書に掲載されている言葉を全て知りたくなり、あ行から理解した言葉に蛍光ペンで線を引いていったことがある。幼いながらにそれが無謀なことだとわかったためにすぐやめたが、それほど言葉への探究心が強かった。そのとき「辞書」は「書くことを辞める」という意味ではなく「言葉に関する書物」という意味だと知ったように、自分の中にある言葉への認識を修正していく瞬間に自分の成長を感じられるのは、とても面白い。

初めて辞書を手にしたとき、言葉の羅列に機械的かつ無機質なものを感じた。辞書に書かれていることは絶対的な正確さがあると信じていた



②親子エコフェスタ 2016 (図書部)

「新聞エコバッグ作り」のブースを出し、子どもたちと一緒に作成しました。図書館にある古新聞を有効活用できました。図書部員は事前に試作品を作ったり、子どもたちが作りやすいよう工夫をしたり、楽しく取り組むことができました。



① H28 年度支援学生交流会 (図書部)

美作大学図書館ボランティア、津山高専図書委員会、津山高校図書部のメンバーが参加しました。各団体の活動紹介をした後、新しくなった美作大学図書館を見学しました。高校の図書館とは違う、規模の大きな図書館を見学し、たくさんの刺激を受けました。



からだ。しかしそう思い込ませるほど、辞書を作る人々は熱量と思いを込めた言葉の説明をしている。簡潔ではあるが理解しやすい説明。それによって無駄なものが削ぎ落とされているように思い、無機質のように感じたのだと思う。辞書という書物は、多大なる時間とお金がかかり、そしてあらゆる人々の努力の結晶が集まったものが形を成したものだ。利便性を求め電子辞書を使用するのもいいが、紙の辞書の重みを感じつつ言葉の海を渡るのも、航海士になつたようでいいかもしれない。

優秀作品

逃げられない

終末に

『終末のフール』を読んで

岡山県立津山高等学校

二年 内田 充紀

予想を覆された。単なる虚構ではなく、その虚構の中で、「生」に光を当てていると気づかされた小説だった。

この『終末のフール』は、八年後に小惑星が衝突し、地球が滅亡すると言われているから五年が経った頃という設定となっている。その中でさまざまなかたちで日々を生きている仙台北部の団地「ヒルズタウン」の住民が、各章の主人公となっている。

彼らは、地球の「余命宣告」から五年を生き、人々が混乱、焦燥、絶

望し、世界が滅茶苦茶になつていく様子を見ている。それでも彼らは生活をしている。自殺を試みる者、家族の復讐を狙う者、逃げ場に迷う者、穏やかに過ごす者。そんな彼らを見ていると、ふと考えさせられることがある。

「生きる意味」についてだ。この小説の中では、八年しか生きられないということから、自ら命を落とす者が多くいたらしいが、現実ではどうだろうか。余命宣告があるうがなかるうが、人は必ずいつか死ぬ。地球の終末、すなわち自分の終末を絶望と捉えるのなら、誰もが絶望に向けて生きていくことになる。しかし、それではまさしく小説のように世が乱れてしまう。現実世界でそうならないのは、やはり「生きる意味」が存在するからなのだと思う。その意味は、僕にはまだわからない。もしかしたら一生わからないかもしれない。世の中には生きる意味を求めすぎるあまり、苦しんでいる人が多くいる。生きる意味はどこにあるかと考えていたとき、「死に物狂いで生きているのは、権利じゃなくて、義務だ」という台詞が目に入り、はっとした。生きるのに理由はそもそも必要ないのかもしれない。生を謳歌したくてもできない人がいる。生きていくことでできるはずの経験をせずに終末を迎える人もいる。生きる意味が何なのかという理由云々を考える前に義務を遂行しなければならな

いと気づかされた。

「いかに生きるか」も大きな課題である。確実に近づく終末を前に、どんな日々を過ごすか。十七歳でま

ともな人生設計を持っていない僕は、時々悩んで途方に暮れる。しかし、設計以前に、終末はいつ来るかわからないのだから、悩む必要もないと思った。正解のない問いに悩みすぎるのはよくない。ただ、どんな道を僕が進んでいくとしても、真摯に生きたらそれでいいのだと知った。

僕自身は、終末があるということに対してそれほど絶望感を抱いていない。よく理解していないだけかもしれない。それでも今現在の生活は楽しく、日々の過ごしがいを感じつつある。しかし、この先の人生でもし生に絶望しそうな時は、あの台詞を思い出したい。

「自殺しちゃいけない理由なんて知らねえけどな、とにかく、自殺なんてしたら、ぶっ殺すからな。」矛盾甚だしいが、この言葉は心に留めておくべきだと思った。

美作地区 高校生 読後感想文 コンクール

佳作作品

私たちは何故犯罪をしてはいけな

一年 一柳香野子
『置かれた場所で咲きなさい』を読んで

二年 松坂 有紗
『いっしょ』を読んで
二年 岸 真衣



⑤津山市立図書館「絵本の世界」展(文化委員会)

中学生は、絵本の世界をイメージした切絵を、高校生は思い出の絵本を紹介しました。展示作業後は、津山市立図書館のバックヤードツアーにも参加しました。たくさんの本に触れ、本の世界を満喫することができました。



④H R読書会(文化委員会)

クラスごとに「学ぶ」や「生きる」などといったテーマを決め、そのテーマに合った本を各自読んできて、それを元にディスカッションを行いました。各クラスで活発に話し合え、自分の考えを深めることができました。

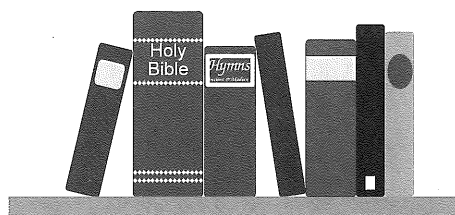


③H28年度津山市子どもまつり(図書部)

読書イベントにおいて、紙芝居と大型絵本の読み聞かせを行いました。図書部員は事前に読み聞かせの方法を学び、練習を重ね、本番に臨みました。子どもたちと共に、絵本の面白さを改めて感じる事ができました。

図書部 作成 作家の名前であいうえお作文

- ① ナイーブで
- ② 疲れきった心をもつ
- ③ 目から涙の
- ④ 漱石は
- ⑤ うっかり怒るが
- ⑥ せうじき（正直）優しい
- ⑦ 教育者



- ⑧ ミステリーの名手
- ⑨ なるほど！ な展開
- ⑩ 止められなくなる面白さ
- ⑪ 考えさせられる作品もあり
- ⑫ 泣ける作品もあり
- ⑬ 選んで読む価値あり！



- ⑭ いかにも変わった名前だが、
- ⑮ ルーブル美術館のように高尚なものは書いていない
- ⑯ まあまあ変わった名前だが、
- ⑰ ひとつと同じものは書いていない
- ⑱ とにかくまあ読んでみて
- ⑲ また読みたいって思えるから

- ⑳ 熱くて
- ㉑ さわやかな小説が読みたいと
- ㉒ 望んでいる
- ㉓ あなたに
- ㉔ つけてあげよう
- ㉕ この人の小説を

部員が四人なので一面埋まるかなと少し心配だったのですが、全体的に多く、むしろ多すぎになるんじゃないかというほどで、みんなよく頑張ってくれました。

裏表紙のあいうえお作文は作家の名前を題材にして作ったものですが、できあがった文章はそれぞれの特徴をあらわしていると思います。

このライブラリーを読んで伝説、それにまつわる人物たちに興味が湧いたならば幸いです。

編集後記



入選

二年 早瀬 雄大

第62回青少年
読書感想文

岡山県コンクール